

2 番 山口等議員

山口等議員／皆さん、こんにちは。

議長より、登壇の許可をいただきましたので、ただいまから 2 番 山口等の一般質問を始めます。

今回は 3 項目の質問を予定しています。

まず始めに、「道路行政」について。

2 つめ、「教育」について。

最後の 3 番目に、「まちづくり」についてです。

きょう 2 日目でありますので、重複するかもしれませんが、私なりに質問します。

早速ですが、質問に入ります。

まず始めに、「道路行政」についてです。

JR の武雄高架が平成 21 年 12 月に開通しました。

4 年経ちますが、それ以来、武雄北部都市区画整備事業が本格的に見られます。

駅北口も、ずいぶん様変わりしました。

途中段階だと思いますが、駅北側の市道西浦永松線が現在、クランク状態で、走りづらい状態になってます。

クランク状態が、いつごろまで、続くのか、質問します。

議長／森まちづくり部長

森まちづくり部長／議員ご指摘の区画整理事業を、今やっているところですが、大変迷惑かけていると思っています。

議員指摘の道路は、土地区画整理内の、生活道路と整備しておりまして、モニタにある、丸のところが、交通に支障をきたしていると思っておりますが、施行中の区画整理事業と、街路事業などの、永松川良線ですが、この工事が完了するまでは、区画整理の道路を利用してもらうことになるかと思っています。

区画整理事業の北のほうの、永松川良線の奥の工事につきましては、平成 27 年の着工を目標に計画していまして、いずれにしても、交通安全対策には、十分配慮をしていきたいと思っています。

議長／2 番 山口等議員

山口等議員／現状を、写真をちょっと見てください。

これは、最近開通した、市道西浦永松線です。

この道路がこのように、走って、駅の北口に通るということになってます。

この状態が、しばらく続くということですが、市道永松川良線が整備中で、現道永松川良線にタッチするは、だいたいいつ頃になるのか、そのあたりのところをおたずねします。

議長／森まちづくり部長

森まちづくり部長／永松川良線につきましては、さきほど申しましたように、27年度に着工したいと考えています。

それから、何年ということは、今はっきりは申しにくいですが、5年くらいは、かかるんじゃないかというふうに考えてます。

議長／2番 山口等議員

山口等議員／27年から着工して5、6年かかるということで。

これは夜間の状態です。

これは、反対から見たところですが、こういう状態が、続くと予想されますので、そうした場合、どうしても走りづらいということで、武内方面などの方、大楠の交差点を利用されることが多くなると思います。

特に、朝夕のラッシュ、右折、駅方面に、右折すれば、非常にしにくいということがあるかと思えます。

私も通りますが、右折が、1台か2台しか通れないということがあります。

時差式の信号機等導入ができないかどうか、朝だけでも、信号機の調整等をしていただいで、そういったことで、少しデモ通りやすい状況にできないか、おたずねします。

議長／森まちづくり部長

森まちづくり部長／交差点の改良を早急にするのが、一番いいのですが、現時点での、交差点の改良は変則的になり、部分的に危険が増すということで、交差点の渋滞が緩和できるように、先ほどおっしゃられたように、信号機等の処理ができないか、公安委員会と今協議をしていきたいと思えます。

議長／2番 山口等議員

山口等議員／公安委員会との協議ということですが、区画整理を進めるためには、いろんな問題が生じていると思えますけど、関係機関と十分協議されて、住民の皆さんが、安心して事業を進めていってほしいと思えます。

当面はこの状態が続くという考えでよろしいわけですね。

道路行政の2つ目の質問にうつります。

市民からの要望に対する、対応ということで、市民の皆さんから、いろんな要望が来るかと思いますが、今回は身近な交通安全関係の要望にかぎって取り上げさせていただきます。この種の要望は、各地区の代表者、区長さんから、要望書として文書で提出されていますが、年間、どれくらいの要望件数が、交通関係だけですけど、どれくらいあるのか、おたずねします。

議長／松尾政策部長

松尾政策部長／交通安全関係の要望ですが、平成22年度で15件、23年度9件、24年度も9件、25年度につきましては現在1件という状況です。

議長／2番 山口等議員

山口等議員／年間に約9件くらいの、要望があがっているということですが、その後の要望を受けてからの対応、流れというか、それはどのようにされているか、おたずねします。

議長／松尾政策部長

松尾政策部長／要望については、地区の代表である、区長さんの名前で総務課にお受けしています。

以前は、市のほうで、受けまして、交通安全関係ということで、提出して、警察のほうで、いろいろ検討されていると。

警察で対応される部分はされますけど、道路管理者である、国、県、市のほうは、警察のほうから意見をいわれるということで、非常に対応があいまいというふうな感じがございました。

一昨年から、現場におきまして、関係者が集まりまして、協議をすると。

その場で、区長さんのほうから、要望の内容について、説明をいただいて、できるか、できないか、あるいは、警察の守備範囲なのか、道路管理者の守備範囲なのか、いつ頃できるのかを、現場のほうで協議をするということで、以前とくらべ、担当部署もはっきりしますし、よりスピーディーに対応できるということで、現在に対応してるところです。

議長／2番 山口等議員

山口等議員／交通安全関係は、国の要望に関しては、国土関係は国土事務所と。

県においては、土木事務所と。

信号機とか横断歩道とか、一旦停止、規制関係は、警察公安委員会がすると思いますが、期間がございますので、なかなか対応が即というのは難しいと思いますけど、なかなか、文書をやっても、文書でかえってこないという声があり、そのあたり、今どういった対処の仕方をしているのかをお願いします。

議長／松尾政策部長

松尾政策部長／案件によりましては、予算の確保が必要なもの。

先ほど言われましたように指定がかかっているものについては、公安委員会が判断し処理する。

一概に要望からどのくらいの期間で対応できるかは、お伝えできませんけど、できるだけ対応できるようにしています。

回答でございますが、現在のところ、文書でお答えすることはいたしておりませんが、必要に応じてはそうしてお答えし、また進捗状況、進み具合に応じて、随時区長さんにお伝えしていく、対応を取っていきたいと思います。

議長／2番 山口等議員

山口等議員／もちろん予算等でいろんな需要があると思います。

すぐ対応できることばかりとは思いませんが、市長にお尋ねですが、書面で要望しとるのでぜひ書面で対応してほしい。

即答はできなくても、今こんな感じで考えていると、アドバイスの前向きな言葉でやっていただきたいと思いますがいかがですか。

議長／樋渡市長

樋渡市長／ケースバイケースです。

全部が文書ならそれこそ、遅れると思います。

ケースバイケースで、柔軟に対応します。

切実なものもあるので、優先順位で対応するというのが私の見解です。

議長／2番 山口等議員

山口等議員／極力、文書でということですが、期間的にも時間がかかって、回答が遅れるともあるので、できるだけ、短期間で回答していただくようによろしくをお願いします。

議長／休憩前に引き続き、会議を開きます。

一般質問を続けます。

2 番 山口等議員

山口等議員／午前中の質問の次の質問に移ります。

2 つ目の教育です。

武雄市は、どこよりも先に ICT を利活用した教育に取り組んでいます。

来年 4 月から、武雄市内の小学校にタブレット端末が配付され、より効果的な授業が始まります。

武内小学校と山内東小学校で取組まれ、子どもたちは授業への意欲を向上した。

授業に集中して顔が上がっている。

担当の教師も説明しやすく、子どもたちも授業がわかりやすいという、非常に成果が出ているようです。

これから先、子どもたちは社会に出て、いろんな形で情報化社会になるが、今よりさらに進んだ中で生きていくことになると思います。

だからこそ今、タブレットを活用して慣れ親しむことに、非常に意味があることだと思います。

今後ぜひ、推進して行って欲しいと、このように思います。

しかし、小学校の低学年は、「つ」のつく年、8 つとか 9 つくらいまでは、基本的な言葉づかい、挨拶、礼儀といったような心の教育も必要になってくるかと思います。

このようなことで、今どのようなことが取組まれて、今後どのように進めていく考えをもってるのか、教育長にお尋ねいたします。

議長／浦郷教育長

浦郷教育長／2 校で先行して、ICT、タブレットを活用したということをご紹介いただきました。

先行した 2 校の意義はきわめて大きかったと思っています。

こういうものだろうという予測が付きやすかったということです。

また実際の例についても、ほかの学校にも広げていきやすい体制で取り組んでいただいと。

それから、2 つ目にお話しするのが、実はうちの委員会等でも話題になるんですが、ICT 教育を進めたときにどうかという論議になりやすい、そういう論議が多いです。

それではないだろうと思っています。

詳しくはあと、教育監から話していただきたいと思いますが、3 つめとしては、「つ」のつく時代が非常に大事だということは、本議会でも箸とか鉛筆とかあったように、同様

に思っています。

子どもたちの心の教育という面で、具体例を挙げるとたくさんあるんですが、本当にどの学校もよく取り組んでいます。

これは、武雄北中学校の校区ですが、ご覧になられて気づかれると思いますが、中学生と小学生が一緒にあいさつタイムというのを、きょうもされていたと思いますが、そういう形で取り組んでおられます。

中学生が小学校に行って読み聞かせとかですね。

こういう小中の連携というのが、最近、各学校で取り組まれていただいているのを感じます。

これは、ご覧になられた方もいらっしゃると思います。

武雄中学校で、赤ちゃん登校日で中学生との交流もございました。

あるいは、上級生との遠足。

これは昔もあったかもわかりません。

それと、こういう感謝の気持ちを…花の贈呈、若木小学校が例かと思うが、地域のお世話になった人に感謝の気持ちを持とうということで。

ほかにも、例えば、中学校でいきますと、山内中学校の立腰教育ですね。

あるいは川登中学校の立志式等(?)もありますし、武雄中では力構想での実践ですね。

北方中学校では郷土愛の育成など、校外に出て活動しています。

そういうことで、学年、学級を超えて、地域に出むいて、異世代の方と交流、あるいは異学年との交流等々、心が動くような場面を数多く設定して、交流していただいています。

もう1つは、中心となるのは、道徳の授業。

ふれあい道徳として、保護者に参観していただく道徳の授業を毎年していますが、公開しているところです。

その進め方を見ましたときに、現在、年間10日ほど土曜日等の開校をしているが、それを利用して保護者の参観していただくなどの授業ができていますし、PTAや育友会の皆さん、保護者の皆さんの協力を強くいただいていると、強く感じています。

議長／樋渡市長

樋渡市長／教育長の答弁ができるのは、やっぱりこういうふうに教育委員会が首長から、多くの場合、独立しているからこういったことができます。

ですが、僕が危惧しているのが、あす、正式発表があるらしいんですが、教育委員会の教育長の権限が首長に移ると。

首長が最終決定権まで有すること。

なおかつ、今までの教育委員会が審議会に成り下がり、教育長が事務局長になると。

国が制度改革としてそれが出されると。

それが、通常国会で法案として出ると聞いて、あした、何らかの発表がありますが、強い危惧をいただいています。

今の私の立場で言うと、もう強大な権力があるんです。

教育委員会に対しても。

その1つが、予算の編成権があります。

かつ、皆さんおわかりですが、学力調査については、教育長と真っ向反対でした。

私は出すべきだと、教育長は出さないべきだと。

しかし、これを公で議論して、結果、教育委員会が…私の言ったことは100%ではないが良い判断をして公開になりました。

首長は巨大な発言権があります。

ここで発言をして、日経新聞の社会面にまで載っているんです。

これ以上、僕は権限要りません。

迷惑です。

教育の場が政治に介するのはおかしいと思います。

政治家が一定独立したところで、教育の現場でいろんな議論をして、そこで教育委員会が責任を持って行うのが、それが僕は一番良いものになると思っています。

ただし、首長の権限を独占することは否定ではない。

例えば、大津市の市長とも交流がありますが、いじめが問題になった。

大阪市長の橋本市長のところもそうですが、それは地域によって選べばいいと思います。

地方自治体で選べばいいって。

国がなんでもかんでも、一律に首長が権限を独占するように押し付けしないで、それはメニューにして、あるところはそれでいい、あるところは今のままがいいというのを選ばせないと、僕はだめだと思うんです。

そこで大事なものは、公明党です。

自民党は何言っても聞きません。

今度の通常国会の法案の提出のときに、そういう制度はあつていいが、ぜひそれを選ぶ。

地方自治体を選ぶということは、選挙によって市民のみなさんが選ぶことになるので、ぜひ、公明党の松尾陽輔議員が言ってくださいね。

そういうふうに思っています。

今、教育委員会に問題、課題があると承知していますが、非常にこういう活動ができているのも、今の教育委員会と私どもの関係がすごくうまく機能しているからできるということをお願いしたいと思います。

議長／2番 山口等議員

山口等議員／県内で1つの小中学校で日本語強化が2015年度から導入されるという話も聞

いています。

日本語強化の内容としましては、ことわざの言語。

俳句、短歌などの伝統的な言語文化。

地元の伝統文化、あいさつ等の礼儀作用、このような内容を取り組んでおられるようです。伝統文化や礼儀作法、道德の心、教育も大事だと思いますが、新しく赴任された教育監は、そういった取り組みについてどう思われるか、お尋ねします。

議長／代田教育監

代田教育監／今、議員の意見にありました言葉づかいやあいさつであるとか、礼儀作法、道德、こういったものは非常に大事だと思います。

非常に大事だと思っているからこそ、ICTを利活用していく意義があるのではと思います。反転授業で説明しましたが、ICTを導入すると、どうしてもデジタル人間を作るとか、あいさつをしなくなるとか、まったく逆の反応がありますが、実はICTを使うことによって、クラスでの話し合いやチームワークとか、それらをもっともっと時間を生み出していこうという施策です。

つまり、議員おっしゃるような、ICTを利活用して、言葉づかい、あいさつ、礼儀作法。そういったものに学校が、先生もじっくり時間がとれる。こんな教育をすすめていきたいと思います。

議長／2番 山口等議員

山口等議員／ありがとうございます。

このような教育は、ICTを活用した教育と、心の教育ですね。

伝統文化、言語文化、礼儀作法等の心の教育。

これを平行して、ぜひ進めていってほしいと思います。

特に小学校の低学年には、いろいろな指導をしていただいて、世の中に送り出すようなものをしっかりと結びつけて指導してほしいと思います。

次、教育関係の2つめになります。

武雄小学校の改修工事です。

現在、武雄小学校の校舎は新しくでき直りまして、今は引っ越しの作業、年内に引っ越しという作業をされています。

ここまで順調にきておりますが、新校舎への引っ越しが終わると、仮校舎が解体されて、グラウンドも復旧されます。

子どもたちが集まるグラウンドのですね、一生懸命遊ぶとか、今、非常に不都合を生じていますが、元気よく遊ぶことができるようになると思います。

建築になると、今後、給食室がまず解体されて、その後の体育館の建設工事に入っていくわけですが、体育館のそばの法面。

どのような整備計画がされているか、お尋ねします。

議長／古賀教育部長

古賀教育部長／武雄小学校の西側の斜面ですが、体育館の建設予定地である所については、法面の改良工事をしています。

これが約 52mほどあります。

それから、西側の道路のほうに向かって、さらに 20mほど延ばそうという計画で、法面については、傾斜がきついところをそういう形にしたいと思っております、残る部分も延長があるわけですが、こう配が安定こう配を保っていることもありまして、法面の改良工事については計画ございませんが、フェンスを、西側全面 140mほどございしますが、安全面を配慮して、フェンスの取り付け工事を行う、優先にいたします。

議長／2 番 山口等議員

山口等議員／写真を見て欲しいですが。

これは、給食室ですね。

これが西側の法面なんです、ここの所の整備をぜひお願いしたいと。

非常にこれ見てみますと、このあたりが急石積みといいますか、空積みの石積みで、今、給食室でこんな所は通らないんですけど。

今後、体育館が北側にまいますので、横を車が通る事になって、体育館の横、ここも今安定こう配といわれましたが、体育館のあとは駐車場になる予定です。

体育館も災害時の避難場所というか、使われるようになる予定もあると思います。

そういったことで、極力、広いスペースの駐車場を確保する意味でも、法面保護をきちんとやって、広い駐車スペースにして、たくさんの車が停められるようにしてほしいと思います。

もう 1 つ、仮設の工場道路を 12 月の議会で述べさせていただいて、仮設道路ができました。

これによって、交通整理ができた。

それと、市道の補修関係の費用が少なくて済むということで、もう 1 つが、保育園の横の道路を補助道路が通行するようになっていたんですが、そこを通らずに現地に行けるということで、保育園の横が制限があり、だいたい 3 時半から下校時の 5 時近くまでは、こういう工事車両が通るなど、作業効率が落ちる状態だったんですが、それを克服して、スムーズに作業ができるようになっています。

費用対効果を望みますので、極力、西側の施行も体育館が解体されたのちに作業ヤードが

できますが、そこで、ぜひお願いしたいなど。

それともう1つですが、左が新しい学校ですね。

プールがあるんですが、そこが非常に狭いんですね。

この奥が、体育館の予定地なんです。

体育館に行くときも、スムーズにいけるような状態で、プールのフェンスを少し改良できないかということです。

角のところをですね。

そういったことで、ぜひ整備をお願いしたいと思っております。

先ほど申し上げました、50年に1回整備するくらいの工事ですので、ぜひ周辺も確認されて、お願いしたいと思います。

次のまちづくりについてです。

田代酒造跡、非常に興味をもっているわけですが、これが解体後の田代酒造です。

残された外壁です。

田代酒造跡の活用についてですが、新町の長崎街道のそばにあります、九州オルレの武雄コースの一つとなっています。

8月末に解体されました。

今後の活用方法をどのように考えているのか、まずお尋ねします。

議長／宮下つながる部長

宮下つながる部長／昨年の12月の議会の一般質問でも答弁をいたしました、武雄市としては、市民価値が高くなるためにということで、いろんなことを検討しているということで、現時点ではそういう段階です。

議長／樋渡市長

樋渡市長／私は、ああいうのを買うこと自体が間違っていたと思います。

私語は慎んでください。

間違っていたと思います。

それで、ものすごく多額の税金をこの田代酒造跡地に使って、しかも何も活用されなくて、結果はこうなる。

今後、跡地使用についてどうかなんて、僕らに聞く前に前やった人に聞いてくださいというのは暴論ですが。

そうではなくて、あの場所自体は、市民価値が高いところなので、広く意見を聞かないといけないと思っておりますし、それこそ議会です。

議会の意見を聞きたいと思っています。

最終的な議決権は議会にありますし、住民の皆さまのご意向、議会の意向を忖度しながら、われわれとしては提示したいと思っています。

重ねてではありますが、僕がその当時市長なら、絶対にあの場所は買いません。無責任です。

議長／2番 山口等議員

山口等議員／跡地の活用に関しては、地元の声としては、公的な施設とか、分譲などの話があるようです。

そういったことで、長崎街道でもあるので、残すような開発などを十分検討されて進めてほしいと思います。

次の質問へ移ります。

武雄への来訪者、特に観光、視察等でたくさん武雄に見えていますが、経済効果についてであります。

武雄は、5年前、がばいばあちゃんのテレビドラマで、知名度を上げることができました。

4月からは、リニューアルオープンしました、武雄市の図書館で、急激に武雄に訪れる方が非常に多くなっています。

特に先ほど言いました武雄市の図書館ですね。

それと、新武雄病院。

それと、オルレですね、オルレ武雄コース。

韓国からもたくさん来られますが、昨日もお話が出てました、灯ろう祭り。

それと桜、季節的なものですが。

非常に、武雄に訪れる方が多くなっていますが、人数的にここ数年で訪れているのか、推移が分かれば、お願いします。

議長／樋渡市長

樋渡市長／推移については、数え方もありまして、言うよりは、むしろ、武雄市が合併をしたときが7年半前です。

7年半前よりどのくらい増えているのかを中心に申し上げます。

当時なかった図書館の来館者については、4月のリニューアル以降、11月末で、約66万人がお見えです。

経済効果を試算したら、観光増勢調査の単価を使った場合は、経済効果が約14億3000万円、それと広告効果については、東京キー局の民放テレビのみで出したんですが、約16億円。

少なく見積もっても、広い意味での経済効果が30億円以上あります。

行政視察数ですが、議会のおかげで爆発的に今また増えているんですけど、平成 24 年度が、行政視察が 1614 人、平成 25 年度、今年度が 3682 人もお越しになっています。

経済効果は、平成 24 年度が、約 1900 万円。

25 年度 11 月末現在 4000 万円になっています。

オルレの体験者は、合併当時なかったんですけど、そういえばきょうですね、ユートピアにお昼ご飯食べにいったんですけど、そのときに韓国から…。

ハートピア、ユートピアってなんでしたっけ。

ちょっとごめんなさい、議場が熱すぎて。

申し訳ないです。

ハートピアの前が、オルレのコースなんですね。

そこで、そのときに韓国人の方がたくさんお見えで、少なく見積もっても、30～40 人の方が、平日のお昼前にもかかわらず、あの前を歩いていたので、これはすごいなと思って。

事務方に確認してもらったら、平成 20 年のコース認定以降、平成 24 年度で 8000 人。

25 年度末は、7 月末現在で 3340 人で、オルレだけで、合計 1 万 1340 人の方が歩かれています。

経済効果は、24 年度は約 1 億 500 万。

25 年度 7 月末現在で、約 4500 万円となっています。

そのオルレを見て驚いたのが、何か見たことがある人がおるねと思ったら、マツオチハルが、うちの職員の観光課のマツオチハルが先頭で歩いていたんです。

流ちょうな韓国語で話しているんです。

やっぱりここだと思うんです。

われわれが知らないところで、行政の職員が、一生懸命掘り起こしているのを見たときに、身内ではありますが、観光課を中心によく頑張っています。

そこで、市民の皆さんと一緒に盛り上がれば、武雄はもっと乗るんだろうなと思いました。

いずれにしても、観光客とか来訪者などの爆発的な増加については、今度は市民の皆さまに利益として出てくるようにしなきゃいけないと思ってますし、現に出ています。

タクシーとか、宿泊施設、飲食店とか、2 割ぐらいは収入が増えていると聞きますので、そういったことを、引き続きやっていきたいと思います。

今までの後ろ向きが横行したようなものじゃなくて、前向きにこれやろう、あれやろうというふうになることを、私自身も期待していますし、その先頭に立っていきたい、そのように思っております。

議長／2 番 山口等議員

山口等議員／図書館で 66 万。

そして、行政視察でも 3600 人といいましたね。

それとオルレが1万人以上。

これだけのたくさんの方が、武雄に見えてますけど、この状態を維持して、さらなる誘客につなげるためには、どのような取り組みを担当部としては考えておられるのか、お尋ねします。

議長／樋渡市長

樋渡市長／担当部ではなくて、僕に聞いてください。

いろんな取り組みがあると思います。

例えば、4カ国語のパンフレットなどもありますが、そうではなくて、これから増やそうと思ったら、市民のみなさんのおもてなし力だと思います。

私がうれしかったのは、佐賀新聞の読者の投稿の、あるじゃないですか。

広場ですね。

広場にどこか、他県のコメントで、武雄にやってきたと。

そのときに、武雄高校の生徒が挨拶をしてきて、場所を聞いたらしいです。

聞いたら、案内しますと言って、そこまで一緒に行ってくれたそうなんですよ。

それが広場に出ていて、僕はすごく感動した。

その方は絶対また武雄に来ようと言って、いろんなところにおっしゃってるはずです。

佐賀新聞の投稿に、他県の方が投稿しているぐらいですから。

これだと思うんですね。

私自身の経験でいろんなところに行かしてもらってますが、小布施。

小布施に仕事で行ったときに、朝、早くジョギングしていた。

当然僕と分からないおばあちゃんが、「ようこそお越しいただきました、ご苦労様です」といわれたんですね。

そういうふうに、ご苦労様と言われたら、言われたときに、また行こうと思います。

なにげない挨拶とか、そういうのが市民に根付くようになると、それがまた自ずと広がると思うし、そこに議員さんの力というのは大きいと思います。

名前を挙げませんが、積極的に、観光客の皆さんたちに、古川盛義議員さんもそうです。

見たことがあります。

実際に観光客を案内していた。

そういうのが、広がれば次、なにやろうあれやろう、などがもっと広がると思います。

議長／2番 山口等議員

山口等議員／いろんな施策を考えておられますが、私の提案ですが、街角案内所というような、立ち寄り所を設けられないか。

オルレコースの中でも結構かと思いますが、ガソリンスタンドとかいろんな事業所、コンビニ等にそういったちょっと立ち寄れる、道案内とかそういうことをできるような、パンフレットを置いたり、韓国語入りの色んな案内等を準備して、市民ぐるみのサービスができないかということで、街角案内所を置いたらと思いますが、このところについて市長どうでしょうか？

議長／樋渡市長

樋渡市長／私は、これは申し訳ありませんが、あまり意味がないと思います。

我々がしたところにしても、完全に提供者目線で、やっぱりここにあればいいなと思うような所に、民間の方が出していただいて、そこに行政が足りない部分があれば、そこを出してというのはあると思うが、そこは必ず需要が出てくると思います。

これだけ多いとなっているので、もう少しスピードを出して解決すべき問題と、じっくり解決すべき問題があれば、もう少し時間をおいて、ご利用者や観光客の皆さんの意見を聞いて、ここは必要だよねとなったら民間の方がやっていただいて、そこで足りない部分があれば、緊急避難的に行政が応援するという形になると思います。

実際、等議員さんですもそうですけど、色んなところに行ったときに、パンフレットを置いていても絶対とらないですね。

そんなもんです。

どう考えても利用者目線でなくて、提供者目線になっているところが、日本の観光地の場合、あまりにも多いと思っております。

それよりも、徳永鮮魚店さんがあるんです。

西浦の。

そこが実際、観光客目線になっています。

あそこから武雄温泉の楼門に、今また増えてきているんですが、結構道案内されてます。

そういう市民の力が、武雄市の場合は大いなので、そういうものを既存の物で活用するのが必要だとこのように意識しております。

議長／2番 山口等議員

山口等議員／人口5万くらいの武雄市がこれだけ活力がある市になったのは、本当に、樋渡市長の施策のおかげだと思います。

これはさらなる誘客に結び付けるように、いろんなアイディアを出しながら、さきほど言われましたが、おもてなしの心で、ぜひ誘客に結び付けて、市民の所得の維持向上に向けていただき、元気ある、活力ある武雄市になれば良いなと思います。

以上で私の質問を終わります。

議長／以上で、2番 山口等議員の質問を終了させていただきます。